

要望事項	対応・処置
教員研修プログラム(日本語研修コース)を改善して欲しい	当該プログラムの受講学生6名を集めて意見聴取を実施(2013.6.13)の上、プログラムの改善について関係部署(国際センター及び教育学研究科)で検討し、プログラム充実を図ることとしている。(2013.9)
入学前に日本に到着した空港から大学までの移動が難しい	4月、10月に広島空港への新渡日の留学生の出迎え(タクシー利用)を行っている。また、広島市内の部局の留学生の出迎えについては、広島県等に対して共同で行うことの提案・要望を行った。(2013.5.23学長と広島県知事との意見交換)なお、関空、成田等への出迎えについては、必要があれば旅行会社の出迎えサービス(利用者負担)の情報を提供する。(原則、広島空港への出迎えに限ることとし、それ以外については、事前に解りやすい乗り換え情報等を提供する。)
スクールバスのような移動手段が欲しい	東広島地区の交通問題については、様々な課題があり、個々に検討している。(2013.9)
学生宿舎に希望者全員が入れない	県内留学生向けの低価格住宅の提供を広島県(2013.5.22学長と広島県知事との意見交換)及び東広島市(2013.6.12企画振興部企画課)に対して要望を伝えた。また、広島県から東広島地区の職員公舎の提供(要補修)について提案があり、補修の上(11月頃)は入居可能となるよう手続きを進めている。(2013.9)
県営住宅への入居に連帯保証人(指導教員)が必要	県営住宅については、大学の機関保証となるよう広島県住宅課に電話で照会(6/14)し、その上で、住宅課長あてに要望書を提出(2013.6.24)。現在広島県と広島大学で協議(2013.8.26)・継続検討中である。
留学生が出来るアルバイトが少ない	広島県に対して留学生を対象としたアルバイト情報の提供を要望した。(2013.5.23広島県知事との意見交換)また、学内において、PAによるキャンパス整備など雇用拡大について現状を分析の上、検討中である。(2013.9)
保育園等に子どもを預けることが難しい	行政上の問題で制度上、留学生のみ特別扱いは難しいと思われる。なお、今後の相談があった場合には、民間の託児所等入所条件が比較的緩いところを紹介する。
家庭で母子が孤立しがち	家庭で孤立しがちな留学生の家族を対象とした「日本語クラス」を開講しているほか、国際交流会館で「日本語モデルクラス」等、外国人向けの日本語コースを行っている。東広島市にも同様の事業があり、「もみじ」で情報提供を行っているが、伝わりにくく、別の方法も含め周知を図っている。
日本人や他の留学生と交流したい	現在、NOIEや会話パートナー、International Luncheon, Regional World Cookingなどの交流行事を行っており、参加者数も増加している。更なる広報(メール等の活用)により注力する。(口コミが広報に一番効果がある。)また、10月26日日本人学生と合同のバスツアーを計画している。
ホームステイをしたい	広島県に対してホームステイの受入機関、ホストファミリーを安定供給できるシステムの構築を要望している。(2013.5.23学長と広島県知事との意見交換)また、ホスピタリティークラブの充実を東広島市(企画課)に対しても要望した。(2013.6.18)東広島市からは、具体的な企画があれば相談にのる旨回答をえている。(2013.7)
留学生会への援助を行って欲しい	個々の留学生会が集まり、全体でどういう組織にし、何を要望するか等話し合うのが先決なので、全学留学生会の設置も含め、各国の留学生会に提案し(2013.6.17)、結成に向け関係者によるミーティングを実施(2013.8.1)するなど、継続検討中である。
奨学金が十分ではない	広島県に対して、県内留学生に対する奨学金の充実・強化、また、新渡日の留学生が日本でのアルバイト等を始めるまでの最初の半年間に重点を置いた奨学金の創設について要望した。(2013.5.22学長と広島県知事との意見交換)
ハラルフードのバリエーションを増やして欲しい	生協に要望を伝え、秋から1品(タンドリーチキン)追加する旨回答いただいた。(2013.8.30)
カウンセリングを行う部屋がない	学生プラザ1階の個室スペースの利用を認め、中国留学生会に伝達(2013.6.17)し、使用可能となっている。